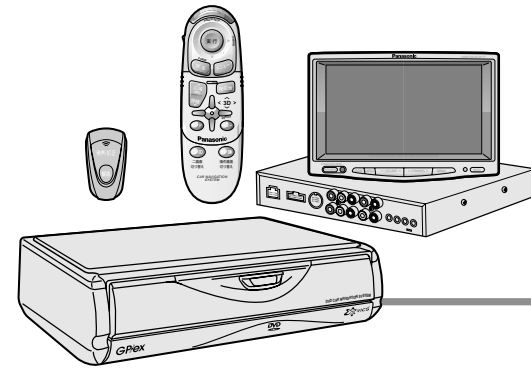


Panasonic

7型ワイドテレビ付
DVD カーナビゲーションシステム

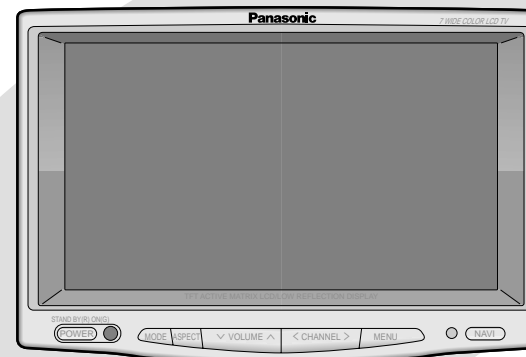
取扱説明書

(テレビ操作編)



品番

CN-DV3020XWD



このたびは、パナソニック カーナビゲーションシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

特長

高輝度、低反射 TFT 液晶(☞8 ページ)

車内外からの外光による画面反射を極力抑えた、高輝度、低反射加工(AG コート)ワイド液晶ディスプレイを採用

RGB 入力端子付(☞ 取付説明書)

ナビゲーションを RGB 原色信号で接続するため、細かい地図が明瞭に見える

オートディマー(自動調光機能)内蔵(☞16 ページ)

周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整

多彩な画面モード切り替え機能内蔵(☞14 ページ)

ノーマル/ジャスト/ズーム/フルの画面モード切り替え機能を内蔵

オートメモリー機能(☞11 ページ)

その場で受信可能な放送局を自動的に選局できるので、見たい放送局が簡単に選べる

スピーカー内蔵(☞8 ページ)

モニターの背面に内蔵された小型スピーカーで、TV・カーナビゲーションなどの音声を出力できる

FM ステレオトランスミッター内蔵(☞12 ページ)

ステレオタイプの FM トランスミッター(送信機)を内蔵
配線の手間なく、テレビやビデオの音声を車載の FM ラジオで受信して聴くことができる

拡張 AV 出力端子付(☞ 取付説明書)

後席用にもう 1 台のモニターが接続できる
(前席でナビゲーションの地図画面、後席でテレビやビデオを見ることができる)

もくじ

ご使用前に

特長	2
安全に正しくお使いいただくために	4
各部のなまえ	8

ご使用前に

使う

テレビを見る	10
電源を入れる/切る	
音量調整	
組み合わせる	12
カーナビゲーション	
FM ラジオ(FM トランスミッター)	
車載用カメラ	
車載用ビデオ、ビデオカメラ	
後席用(2 台目)のモニター	

使いかた

使いこなす

便利な機能	14
映像の横縦比(アスペクト)を変える	
テレビ放送の音声を切り替える	
使いかたに合わせて設定を変える	16
ユーザー設定	
入力設定	
映像調整	

必要なときに

故障かな!?	20
お手入れのしかた	21
仕様	22
アフターサービスについて	23


必要なときに


安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告


運転者は走行中に操作をしない、
また画像を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

運転や視界の妨げになる位置に
取り付けない


 **禁止** 前方・後方の視界やエアバック等安全装置の妨げになる位置、シフトレバーやブレーキ付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。

取り付け・アース配線等に、保安
部品を使わない


 **禁止** ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。

注意


取り付け・配線は、専門技術者に
依頼する

 本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。


ヒューズの交換は、専門技術者に
依頼する

 規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。


分解や改造をしない

 **分解禁止** 分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。


配線作業中はバッテリーの⊖端子
を必ずはずす

 説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。


故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 音が出ない、煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。


DC12V⊖アース車で使用する

 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など(DC24V車)には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。


機器内部に異物を入れない

 **禁止** 内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、発火、および感電や故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。


水をかけたり、ぬらしたりしない

 **禁止** 内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

可動部に手・指を入れない

 **禁止** 可動部やディスク挿入口に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する

 車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は、事故の原因になります。

⚠ 注意

アンテナは、落下しないようにしっかり取り付ける



ねじがゆるんでいたたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

アンテナは、はみ出さないように取り付ける



アンテナのエレメントが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

運転や乗り降りを妨げたり、破損ないようにコードを引き回す

運転や乗り降りが妨げられると、事故やけがの原因になります。コードが痛んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないように整形し、固定する。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液漏れによる発熱・発火、けがや故障、および周囲を汚染する原因になります。



電池は極性表示(+と-の向き)を確かめて、指示どおり正しく入れる。指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。使いきった電池は、すぐに交換する。リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。電池を廃棄、または保存するときは、テープを巻きつけたリビニール袋などに入れて絶縁する。充電・ショート・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。窓を閉めきった車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。万一、目に入ったときは、こすらずにすぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

使用上のお願い

本機はDC12V車専用です。DC24V車には使用できません。モニターに衝撃を与えないでください。

液晶ディスプレイ面を上にしてダッシュボード上に放置しないでください。高温または低温になると液晶ディスプレイが化学変化を起こし、故障の原因になります。(使用温度範囲：-20 ~ 80)

低温になると、映像が出なくなったり・出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり・画質が劣化したりすることがあります。(使用可能温度：0 ~ 40)

液晶ディスプレイにはあまり触れないでください。特殊加工がされているので、画面に触れると指紋が目立ちます。

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が発生することがあります。位置や向きを調整し、本機から離してください。

液晶ディスプレイを押したりしないでください。

走行中は、テレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。

安全な場所に停車し、サイドブレーキをかけてご覧ください。

後席用(2台目)のディスプレイには、映像が表示されません。(☞13ページ)

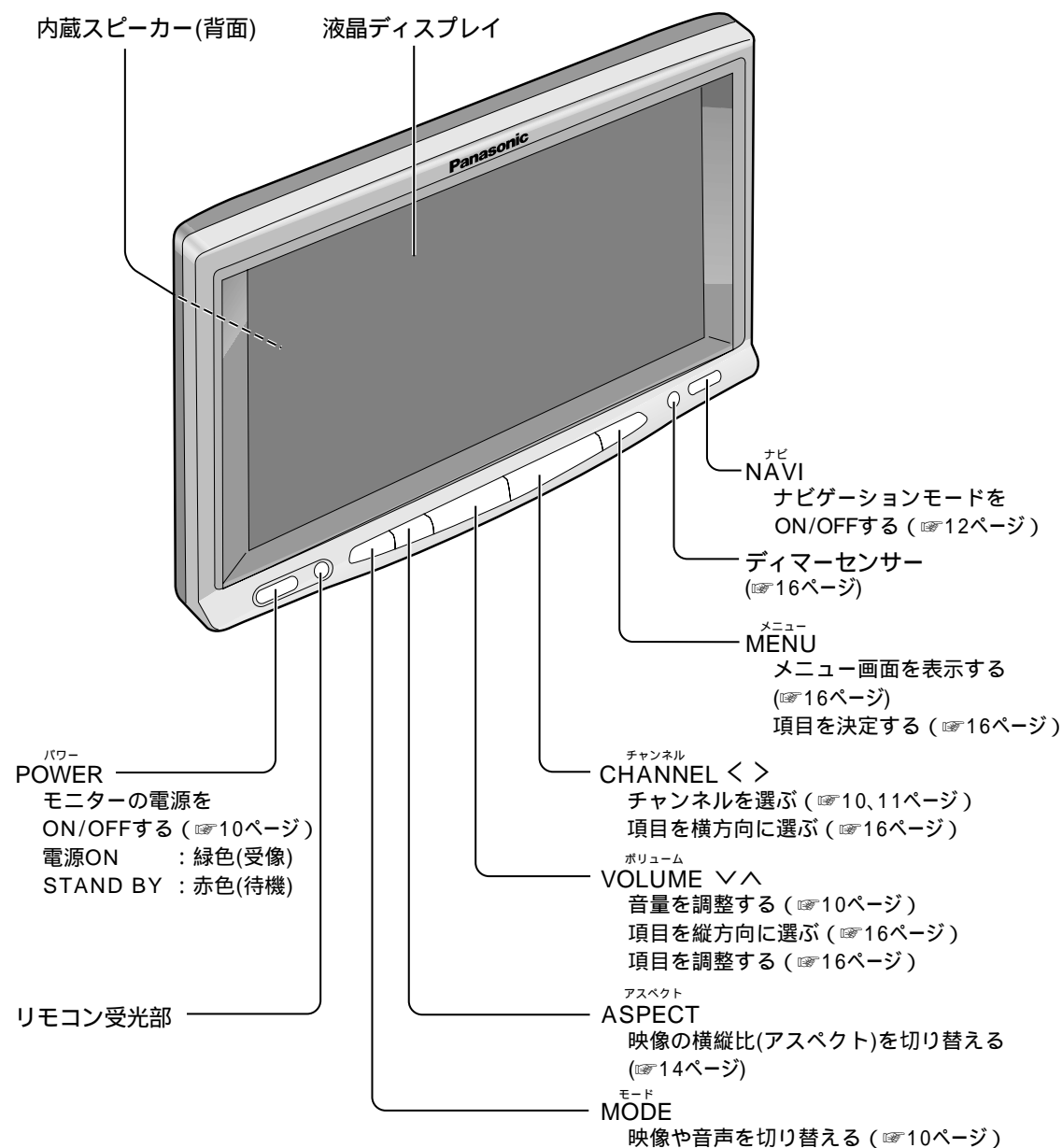
この取扱説明書について

本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(☞8~9ページ)も併せてご覧ください。

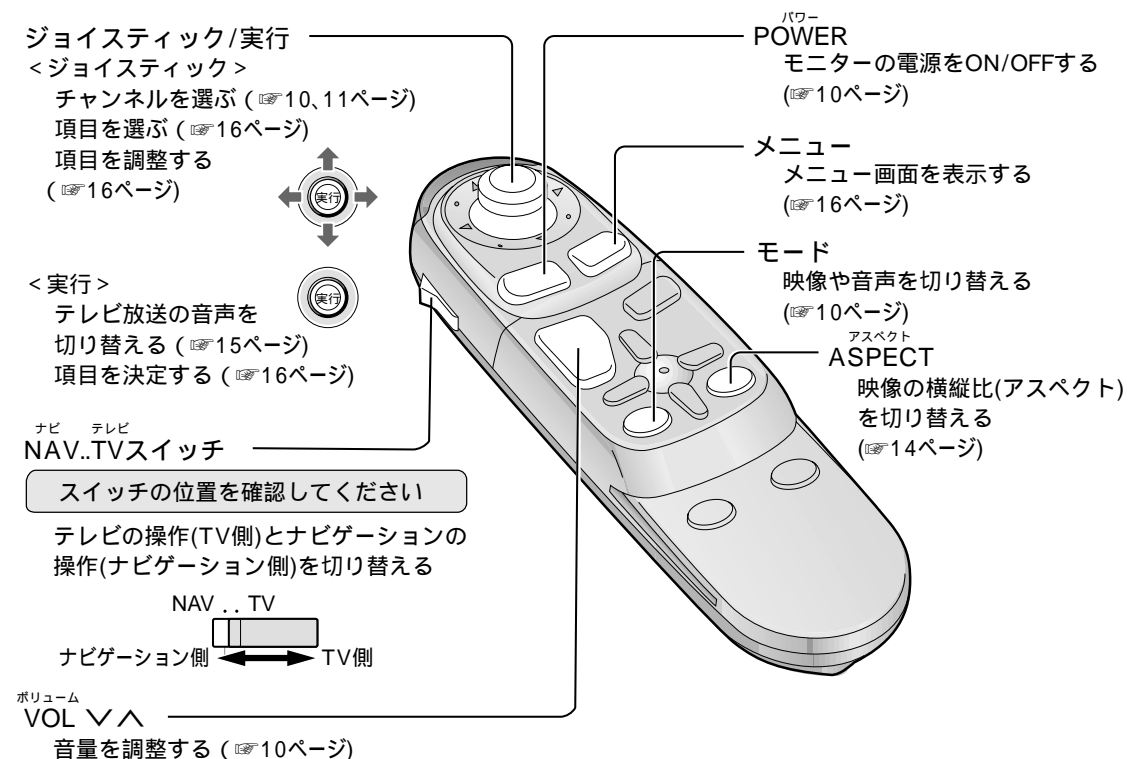
各部のなまえ

ディスプレイユニット

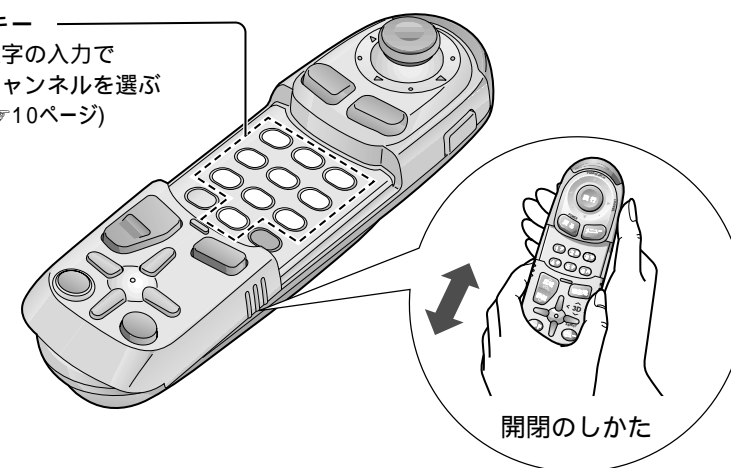


リモコン

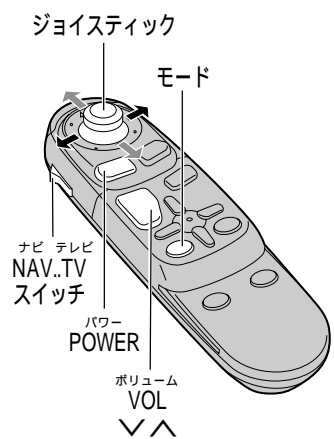
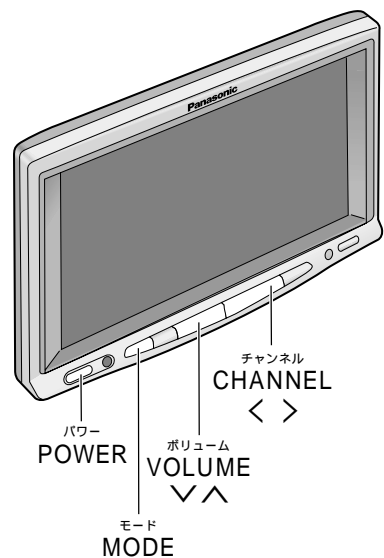
ディスプレイユニットのリモコン受光部へ向けて、操作してください。



10キー 数字の入力でチャンネルを選ぶ (10ページ)

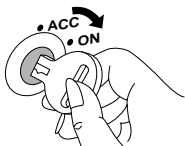


テレビを見る



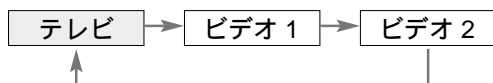
1 車のエンジンをかける

(「ACC」の位置でも可)



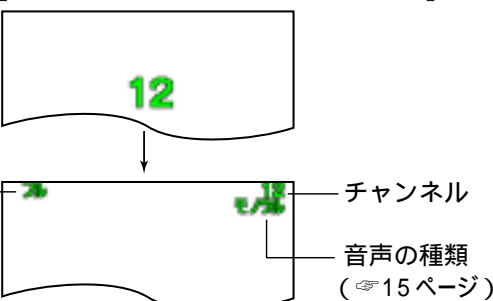
2 POWER を押して、電源を入れる

3 MODE を押して、テレビモードにする



4 CHANNEL < > を押して、チャンネルを選ぶ

リモコンは [ジョイスティック] 左右
「10 キー」でも選べます。(ダイレクト選局)



表示は、約 3 秒間で消えます。

警告

運転者は走行中に操作をしない、また画像を注視しない



走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所
禁止 に停車し、操作してください。

内蔵スピーカーの音量を調整するには → [VOLUME] ↓ ↑ 押す

電源を切るには → [POWER] 押す

お知らせ

テレビを見るときは、ナビゲーションモードを解除してください。→ [NAVI] 押す

リモコンは NAV.TV スイッチを「NAV」側にして [モード] を押す。

チャンネルの選びかた

テレビ本体で操作するときは

準備

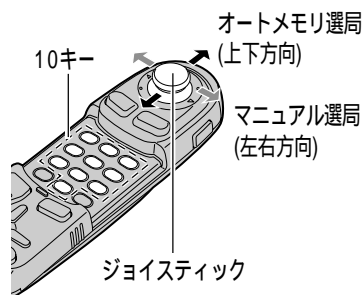
2 通りの方法があります。
チャンネルモードをお確かめください。(16 ページ)

受信できるチャンネルを自動で探し、記憶させる オートメモリモード	探して記憶させる	CHANNEL [<] [>] 1 秒以上押す 終了すると、もとのチャンネルに戻ります。	<p>16 局以上受信したときは、残りのチャンネルが約 3 秒間表示されます。</p>
	記憶された中から選ぶ	CHANNEL [<] [>] 押す	

チャンネルをひとつずつ選ぶ マニュアルモード	探す	CHANNEL [<] [>] 1 秒以上押す 受信すると、止まります。	<p>お知らせ</p> <p>記憶されたチャンネルは、操作するたびに更新されます。 電波状況により、映らない(画質が悪い)チャンネルが記憶されることもあります。 受信できるチャンネルが見つからないときは、1 周してもとのチャンネルに戻ります。</p>
	1CH ずつ切り替える	CHANNEL [<] [>] 押す	

リモコンで操作するときは.....チャンネルモードの設定に関わりなく、選局ができます。

[ジョイスティック] を倒す



受信中のチャンネルを「10 キー」に記憶できます(プリセット)

チャンネルをひとつずつ記憶させる	[0] ~ [9] 何れかを 2 秒以上押す	
チャンネルを選ぶ	[0] ~ [9] 何れかを押す	

使いかた

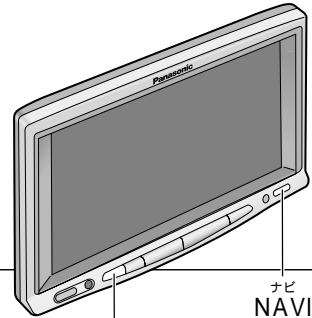
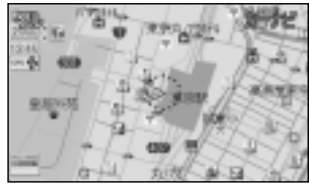
組み合わせる

ナビゲーションの映像に切り替えるには

準備

カーナビゲーションを接続する。(☞取付説明書)
「カーナビ入力」の設定を確認する。(☞18ページ)

NAVI を押して、ナビゲーションモードにする
(再度押すと、解除)



モード
MODE

お知らせ

モニターが STAND BY(待機)の
ときにも、ナビゲーションの映像
は表示されます。

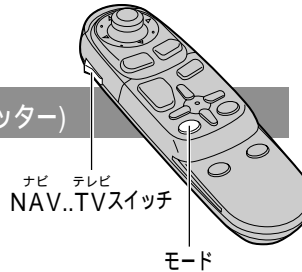
リモコンは...
NAV..TVスイッチを「NAV」側
にして、**モード** を押す。

テレビなどの音声をFMラジオで聴くには(FMトランスミッター)

本機の音声を車載のFMラジオへ送信して聴くことができます。
(内蔵スピーカーは、ナビゲーション音声専用になります。)

準備

FMトランスミッターを設定する。(☞16ページ)
FMトランスミッター用アンテナが伸びていることを確認する。(☞取付説明書)
FMラジオの周波数を一致させて、本機の音声を受信する。
→ 音量は、FMラジオで調整してください。



ナビ テレビ
NAV..TVスイッチ
モード

ナビゲーションモードのときに、**MODE** を押す

本機の映像・音声(内蔵スピーカー)はナビゲーションのまま、
FMラジオへ送信する音声だけが切り替わります。



テレビ → ビデオ 1 → ビデオ 2

FMラジオへ
送信する音声

お知らせ

ナビゲーションの音声は、FMトラン
スミッターに出力されません。
音声と映像を同じにしたいときは、
ナビゲーションモードを解除して
ください。 → **NAVI** 押す

リモコンは
NAV..TVスイッチを「NAV」側にして
モード を押す。

FMトランスミッターについて
FMラジオ放送と混信しない周波数
に設定してください。
チューナーユニットの取り付け場所
によって、聴きにくいことがあります。
(実用到達距離は、約3mです)

車載用カメラの映像に切り替えるには

準備

車載用カメラを接続し、リバースコードを配線する。(☞取付説明書)
「カメラ入力」の設定を確認する。(☞18ページ)

車のシフトレバーを
バック「R(リバース)」に入れる

お知らせ

モニターが STAND BY(待機)の
ときにも、表示されます。
「ビデオ 2」にモードを切り替えた
ときも、表示されます。
→ **MODE** 押す

車載用ビデオやビデオカメラを見るには

準備

車載用ビデオやビデオカメラを接続する。(☞取付説明書)

接続が
ビデオ 1

MODE を押して、ビデオ 1 モードにする

接続が
ビデオ 2

MODE を押して、ビデオ 2 モードにする

お知らせ

ナビゲーション以外の映像を見る
ときは、ナビゲーションモードを
解除してください。
→ **NAVI** 押す

リモコンは
NAV..TVスイッチを「NAV」側にして
モード を押す。

後席用(2台目)のモニターでテレビやビデオを見るには

前席(本機)と同じモードの映像・音声が出力されます。
ナビゲーションモードのときは、後席のモードだけをテレビやビデオに切り替えることができます。

準備

もう 1 台モニターを接続する。(☞取付説明書)

ナビゲーションモードのときに、**MODE** を押す

前席(本機)の映像・音声(内蔵スピーカー)はナビゲーションのまま、
後席(2台目)のモニターの映像・音声だけが切り替わります。

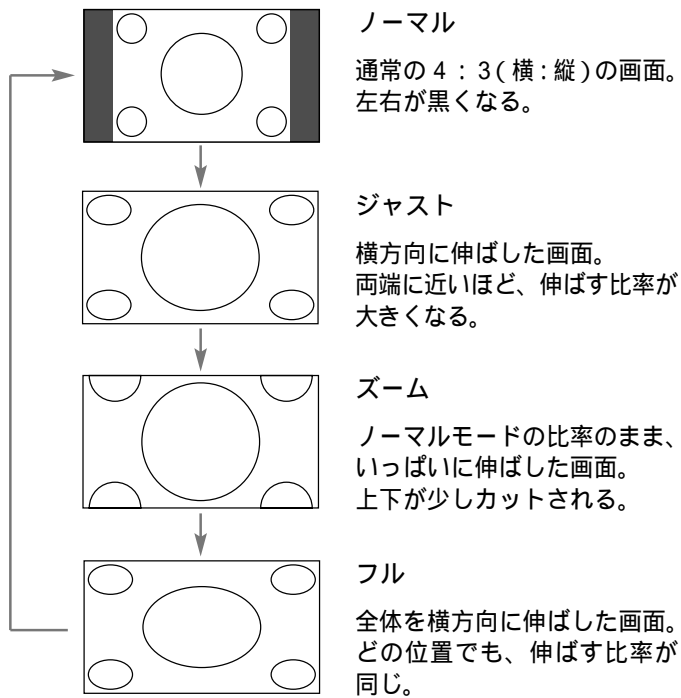
お知らせ

ナビゲーション(RGB接続)の映像
は、出力されません。

便利な機能

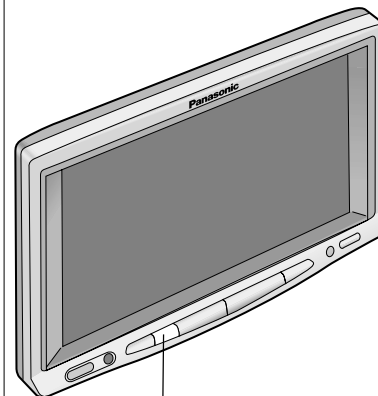
映像の横縦比(アスペクト)を変える

ASPECT を押して、画面モードを切り替える



お知らせ

テレビとビデオ 1・2 は、同じ
設定になります。
ナビゲーションの映像は、ノーマル・
フルのみになります。
カメラの映像は、ノーマル・
ジャスト・フルのみになります。
選びかたによっては、オリジナル
映像と異なって見える場合があります。



お願い

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドでない通常 (4 : 3) の映像をジャスト・ズーム・フルなどで画面いっぱい拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

アスペクト
ASPECT



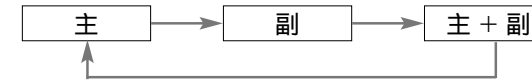
テレビ放送の音声を切り替える

- 1 リモコンの **実行** を押し、
- 2 チャンネルの表示中(約 3 秒間)に再度リモコンの **実行** を押して切り替える

ステレオ放送の場合



2 カ国語(二重)放送の場合



音声の種類



チャンネル番号の色で
放送の種類を示します。
緑：モノラル放送
黄：ステレオ放送
赤：2カ国語(二重)放送

お知らせ

モノラル放送の場合は、音声の種類
が表示されません。

実行



使いかた

使いかたに合わせて設定を変える

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① < > と ↓ ↑ で項目を選択し
- ② MENU を押す



3 設定する



- ① ↓ ↑ で選択・調整し
- ② MENU を押す



お知らせ

操作を途中でやめるには

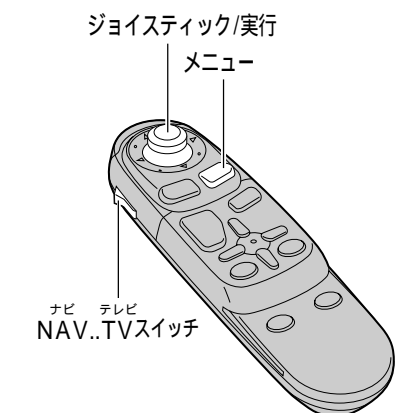
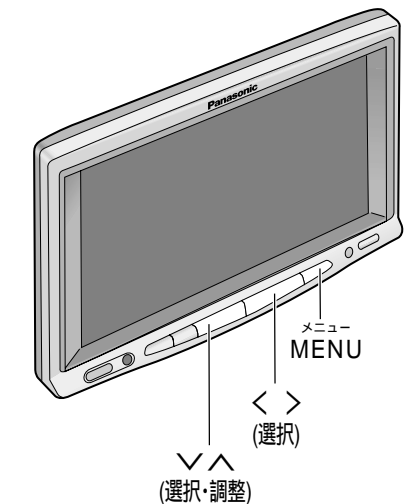
MODE を押す

メニュー画面を終えるには

終了 を選ぶ

約 10 秒間操作しないと
もとの画面に戻ります

ユーザー設定	FM ラジオへ送信する周波数を設定する (出荷時は「76.0 MHz」)	FM トランスミッター を選び	周波数を調整する 76.0 MHz ~ 78.4 MHz → OFF (0.1 MHz 間隔で切り替わる)
	内蔵スピーカーの音声を設定する (出荷時は「標準」)	スピーカー設定 を選び	標準 : モニターに出力されている映像の音声を出力する カーナビ専用 : 常にカーナビの音声を出力する
	画面(バックライト)の明るさを設定する (出荷時は「オートモード」)	ディマー設定 を選び	オートモード : 周囲の明るさに合わせて自動調光される 1 2 3 4 : 暗い(1) ~ 明るい(4)
	チャンネルの選局方法を設定する (出荷時は「オートメモリモード」)	チャンネルモード設定 を選び	オートメモリモード または マニュアルモード を選ぶ



使いかた

使いかたに合わせて設定を変える

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び

入力設定の場合



- ① < > と \downarrow \uparrow で項目を選択し
- ② MENU を押す



3 設定する



- ① \downarrow \uparrow で選択・調整し
- ② MENU を押す



入力設定	ナビゲーションの接続を設定する (出荷時は「RGB」)	入力設定から	カーナビ入力 を選び	RGB : RGB 入力の場合 ビデオ 1 : ビデオ入力 1 に接続した場合
	車載用カメラの接続を設定する (出荷時は「入力しない」)		カメラ入力 を選び	入力しない : 未接続の場合 ビデオ 2 : ビデオ入力 2 に接続にした場合
映像調整	暗い部分を見やすく調整する (出荷時は「±0」)	映像調整から	黒レベル を選び	「+」: 黒が薄くなる 「-」: 黒が濃くなる
	めりはり(白黒の差)を調整する (出荷時は「±0」)		コントラスト を選び	「+」: 白黒の差がはっきりする 「-」: 白黒の差が小さくなる
	色の濃淡を調整する (出荷時は「±0」)		色の濃さ を選び	「+」: 濃くなる 「-」: 薄くなる
	肌色をきれいに調整する (出荷時は「±0」)		色あい を選び	「+」: 緑色が濃くなる 「-」: 赤色が濃くなる
		ナビゲーションが RGB 入力の場合は 黒レベル コントラスト のみ 調整範囲 - 30 ~ + 30		

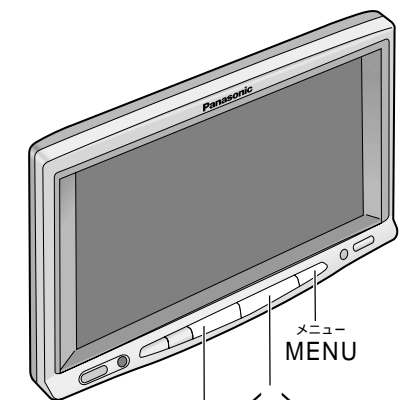
お知らせ

操作を途中でやめるには
MODE を押す

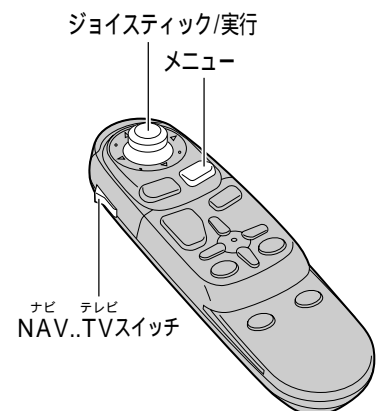
メニュー画面を終えるには
終了 を選ぶ

約 10 秒間操作しないと
もとの画面に戻ります

映像調整は、モードごとに設定できます。



メニュー MENU
< > (選択)
\downarrow \uparrow (選択・調整)



ナビ テレビ NAV..TVスイッチ
ジョイスティック/実行
メニュー

故障かな！？

症状	原因と処置	ページ
モニターの電源が入らない	車のエンジンがかかっていない。 →車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) リモコンのNAV..TVスイッチの位置が正しくない。 →リモコンで操作するときは、スイッチを「TV」側にしてください。 ヒューズが切れている。 →お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。 各コードが正しく接続されていない。 →接続をご確認ください。	10 9 — 取付説明書
画面の明るさが一定でない	ディマー設定が「オートモード」になっている。 →故障ではありません。設定を「1」～「4」にすると、周囲の明るさに影響されなくなります。	16
映像が暗い/白っぽい 色あいが悪い/色が薄い	映像調整が適切でない。 →各項目を調整してください。	18
雑音のみで映像が不鮮明	チャンネルが合っていない、または電波が弱い。 →受信できるチャンネルに変えてください。 テレビアンテナがはずれている。 →接続・取り付けをご確認ください。	10 取付説明書
音声は出るが、映像が出ない (チャンネルのみ表示)	サイドブレーキコードの接続がはずれている。 →接続・取り付けをご確認ください。 サイドブレーキを引いていない。 →サイドブレーキを引いてください。	取付説明書 —
FMトランスミッターの音が出ない	FMトランスミッター設定が「OFF」になっている。 →周波数を設定してください。 選局がずれている、またはカーオーディオの音量が下がっている。 →調整してください。 電源コード(テレビ用)のFMトランスミッター用アンテナが伸びていない。 →音がよく聞こえるようにアンテナを伸ばし、引き直し直してください。	16 12、16 取付説明書
テレビを操作できない	NAV..TVスイッチの位置が正しくない。 →「TV」側にしてください。	9
雑音が出る 映像の映りが悪くなる	携帯電話が本機の近くにある。 →携帯電話を本機から離してください。	—
ナビゲーションの映像が表示されない	カーナビ入力設定が「ビデオ1」になっている。 「RGB」にしてください。	18

こんなときは、故障ではありません。

症状	原因
映像がゆれる 映像が2重3重になる 雑音が出る	ビルとビルの間/送電線の付近/山かげ/電車の近くなどを車が通過した。 車の上空を飛行機が通過した。
映りが悪くなる 色が出たり消えたりする 雑音が出る	山や木立のかけになっている。 放送局から遠く、電波が弱い。
画面にはん点が出る (音は正常)	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くなどを車が通過した。
色模様が出る 色が消える (音は正常)	ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くなどを通過した。 車内で無線機を使用した。
赤、青または緑の点が表示される	液晶ディスプレイ特有の現象。 →故障ではありません。

万一、異常(ヒューズの溶断など)が起こったらすぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

お手入れのしかた

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、避けてください。
化学ぞうきんをご使用になる場合は、その注意事項をよくお読みください。



使用しない

画面を拭くときは

ホコリや汚れは、柔らかい布で、から拭きしてください。
画面をツメで引っかかないでください。キズが付くと映像が見づらくなります。

仕様

アフターサービスについて

共通

電源電圧 : DC12 V (11 V - 16 V) ⊖アース、(試験電圧 14.4 V)
消費電流 : 2.0 A テレビ単体 (TV 動作定格出力時)

ディスプレイユニット

画面寸法 : 7 型ワイド
幅 156 × 高さ 87、対角 178 (mm)
画素数 : 336 960 画素 (縦 234 × 横 480 × 3)
有効画素率 : 99.99 % 以上
表示方式 : 透過型カラーフィルター方式
駆動方式 : TFT (薄膜トランジスタ)
アクティブマトリックス方式
使用光源 : 内部光 (コの字型冷陰極蛍光灯)
スピーカー : 40 mm 丸型 1 個
音声出力 : 1 W 以下 (8)
外形寸法 : 幅 188.4 × 高さ 128.4 × 奥行き 35.6 (mm)
質量 : 535 g

チューナーユニット

受信チャンネル : VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch
(TV ステレオ、音声多重)
実用感度 : 34 dB/μV
FM トランスミッター出力周波数 : 76.0 MHz ~ 78.4 MHz
ビデオ入力端子 (VTR1/VTR2-IN) : <映像> 1.0 Vp-p (75 RCA ピンジャック)
(VTR1/VTR2-IN) : <音声> 0.5 Vrms (RCA ピンジャック)
拡張 AV 出力端子 : <映像> 1.0 Vp-p (75 RCA ピンジャック)
<音声> 0.5 Vrms (RCA ピンジャック)
外形寸法 : 幅 228.7 × 高さ 37.5 × 奥行き 138.8 (mm)
質量 : 810 g

テレビアンテナ

出力インピーダンス : 75 × 4 (ミニプラグ付)
ケーブルの長さ : 6 m
外形寸法 : 幅 30 × 高さ 28 × 奥行き 190 (mm) (本体収納時)
質量 : 250 g (本体片側、ケーブルを含む)

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。

保証期間 : お買い上げ日から 1 年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙)へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品 (機能を維持するために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

お客様相談室

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」(別紙)へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

0120-50-8729

フリーダイヤル (料金無料)
受付 9:00 ~ 17:00
(土・日・祝祭日・弊社休日を除く)